# 多様化する(?)高等教育

第三回 早稲田大学・同志社大学
SDワークショップ

# 国立大学改革

「国立大学法人の組織及び業務全般の見直しに関する視点」の提示　　2015年5月27日

・教員養成系・人文社会科学系は、組織の廃止や社会的要請の高い分野への転換

「見直しに関する視点」案は2014年8月通達済み

## 社会的反応

* 読売新聞社説「国立大学 人文系を安易に切り捨てるな」 2015年6月17日

* 朝日新聞社説「大学は社会にすぐ役立つためだけにあるのか」 2015年6月10日

* 日本経済新聞「『社会に役立つ』性急すぎる要求」 2015年6月22日

* 内田樹「文系学部廃止は天下の愚」

## 「組織及び業務全般の見直し」「人文社会科学系組織の廃止や転換」

-- 1990年代以降の大学多様化の流れの延長線上

-- 1991年 大学設置基準の大綱化
私立大学数 372校 → 605校（2012）
4年制大学進学率 25.5%（1991）→ 51.0%（2011）

-- 2003年 特区法改正 株式会社立大学
インターネット大学

-- 2005年 中教審答申「我が国の高等教育の将来像」

1 世界的研究・教育拠点

2 高度専門職業人養成

3 幅広い職業人養成

4 総合的教養教育

5 特定の専門分野（芸術・体育等）の教育・研究

6 地域の生涯学習機会の拠点

7 社会貢献機能

-- 2013年教育再生実行会議の提言を受けた「国立大学改革プラン」閣議決定

- 世界最高の教育研究の展開拠点（例 京大）
- 全国的な教育研究拠点（日本トップの研究拠点・世界に開かれた教育拠点：例 一橋大学）
- 地域活性化の中核拠点（地域のニーズに応じた人材育成・地域社会のシンクタンク）

## 二極を中心とした多様化

まち、ひと、しごと創生会議本部 首相官邸
「まち、ひと、しごと創生会議」 2014年9月

冨山和彦（経営コンサルタント）「我が国の産業構造と労働市場のパラダイムシフトから見る高等教育機関の今後の方向性」

# G(lobal)の世界 L(ocal)の世界

・大半の大学に、今後の雇用の圧倒的多数を占めるジョブ型雇用のおける職業訓練機能を果たさせることがこの議論の本丸

| | 企業の環境変化・課題 | 雇用・人材レベル | 対象大学 | 大学に求められる役割 |
|---|---|---|---|---|
| Gの世界 | ・グローバル競争は一層激化し、世界トップクラスのみが生き残れる世界<br>➔競争力強化が課題 | ・雇用は長期的に漸減傾向<br>・人材レベルは一層高度化（少数精鋭化） | 極一部のTop Tier校・学部に限定 | ・グローバルで通用する極めて高度なプロフェッショナル人材の排出 |
| Lの世界 | ・生産労働人口が減少し、労働力不足が深刻化<br>➔生産性向上・労働参加率の向上が課題 | ・雇用は長期的に増加傾向（労働力不足が深刻化）<br>・平均的・汎用的な技能を持つ人材が求められる | その他の大学・学部<br>▽<br>「新たな高等教育機関」に吸収されるべき | ・生産性向上に資するスキル保持者の排出（職業訓練） |

# L型大学

## L型大学で学ぶべき内容（例）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 文学・英文学部 | シェイクスピア、文学概論 | ではなく、 | 観光業で必要となる英語、地元の歴史・文化の名所説明力 |
| 経済・経営学部 | マイケルポーター、戦略論<br>（筆者は日本のトップ戦略コンサルタントの一人だが、ポーターの5Forcesは使ったことが無い） | ではなく、 | 簿記・会計、弥生会計ソフトの使い方 |
| 法学部 | 憲法、刑法 | ではなく、 | 道路交通法、大型第二種免許・大型特殊第二種免許の取得 |
| 工学部 | 機械力学、流体力学 | ではなく、 | TOYOTAで使われている最新鋭の工作機械の使い方 |

## 大学多様化は必要か?

1949年学制改革~1956年大学設置基準を通じてほぼ一様であった4年制大学 ⇒ 1990年代以降の多様化

現在進行中の、また、さらに進む多様化は大学、個人、社会、経済にとって良い道であるか否か?

多様化自体は望まれるべき
ただし、人社系切り捨てによる多様化
⇒ 大学のアイデンティティの喪失
⇒ 大学の非大学化
⇒ 社会・経済の要請にも応えられない大学

## 世界では 高等教育機関の「大学化」

「似て非なる流れ」 イギリスにおける大学の「増設」

Polytechnic（イングランド、ウェールズ、北アイルランド） 主としてSTEM系（Science, Technology, Engineering and Mathematics）＋ビジネス系（会計、経営、観光） Teacher Training College（教員養成カレッジ）

「高等教育法」1992年 32の Polytechnic が一斉に University に改名 大学の学位授与

「大学」進学率15%（1989） ⟶ 30%（2000）

## ドイツでは

Polytechnic, Teacher Training Collegeの
総合大学化 ＝アカデミズム化 = 非職業学校化

職業教育や実学の要素を減らし、
総合大学特有のアカデミズムを導入

基礎教育・研究　応用教育・研究
純粋学問 学問のための学問
研究者養成
× 一般教育

# ドイツ Technische Universität (TU)の総合大学化

1990年代以降

学際化 -- 文理融合

国際化 -- 海外の「大学」との共同研究
海外の大学からの研究者・学生の積極的受入

ドイツの総合大学にはできない教育・研究の英語化

| | |
|---|---|
| 49 | Ruprecht-Karls-Universität Heidelberg |
| 52 | Ludwig-Maximilians-Universität München |
| 54 | Technische Universität München |
| 121 | Albert-Ludwigs-Univesität Freiburg |
| 127 | Technische Universität Karlsruhe |
| 134 | Humboldt Universität zu Berlin |
| 141 | Eberhard Karls Universität Tübingen |
| 146 | Georg August Universität Göttingen |
| 147 | RWTH Aachen Universität |
| 150 | Freie Universität Berlin |

## 中国でも

1952~1978　ソビエト教育制度の影響下、
・職業教育、実学、科学技術教育重視
・人文科学無視　「通識」(教養)教育の消滅

1978~1995 職業教育、実学、科学技術偏重への反省 知の拡大　「素質」(教養)教育に脚光

1995~　中国政府の政策「素質」教育の徹底
カリキュラム再編

1999 中国共産党国務院通達
《深化教育改革 全面推進 素質教育的決定》

2000~ リベラルアーツ&サイエンス学部の新設

北京大学元培学院（2001） 復旦大学復旦学院（2005–12） 北京理工大学 基础学院 （2007）浙江大学求是学院（2008） 中山大学博雅学院（2008）

2010《国家中長期教育改革》素質教育

理工系学部生の文系科目の履修の割合の変遷

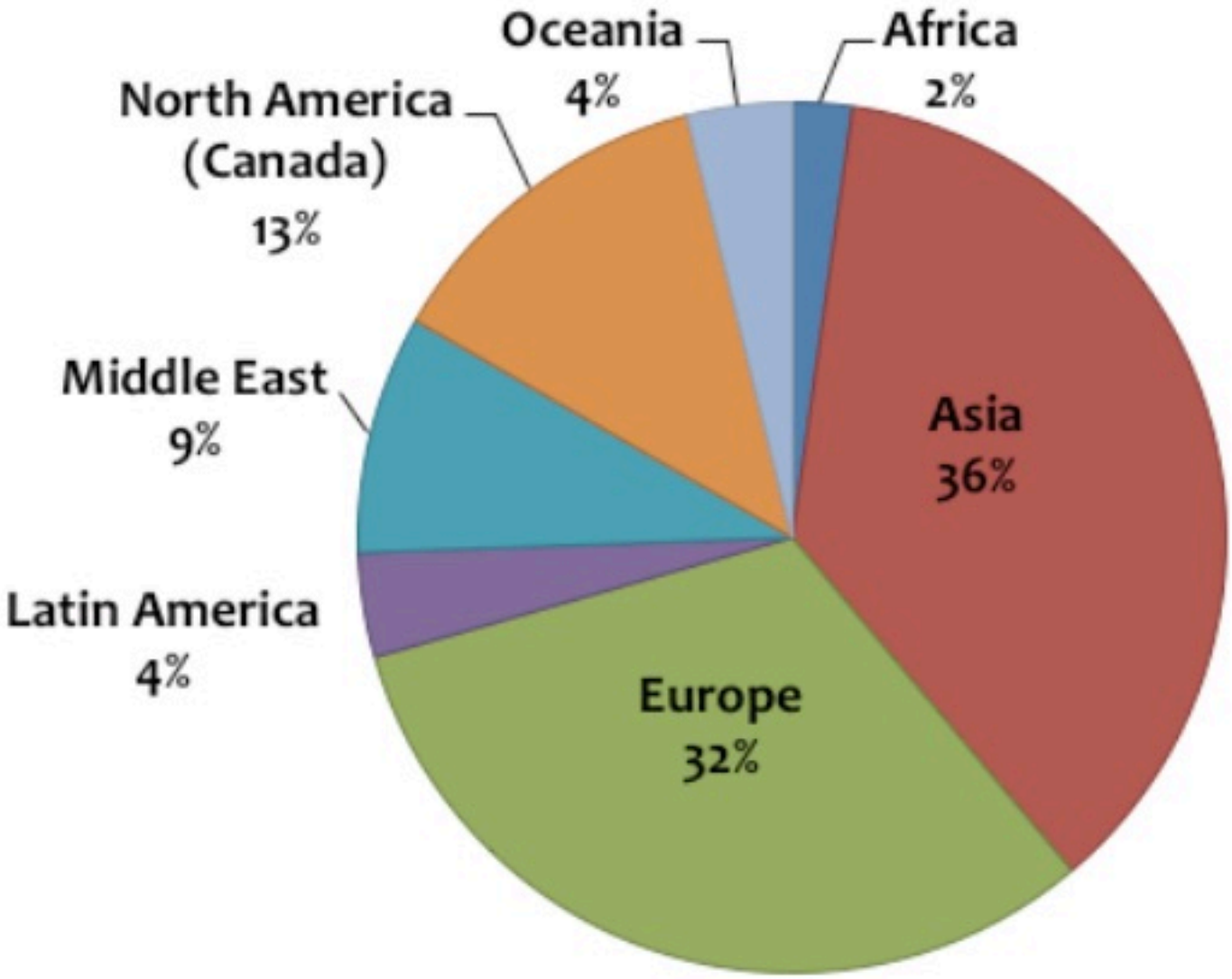
| Year | 1957 | 1963 | 1979 | 1986 | 1992 | 2013 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| Proportion (%) | 11.7 | 17.8 | 16.5 | 18.3 | 22.0 | 21.1 |

# リベラルアーツ&サイエンス教育 世界地図

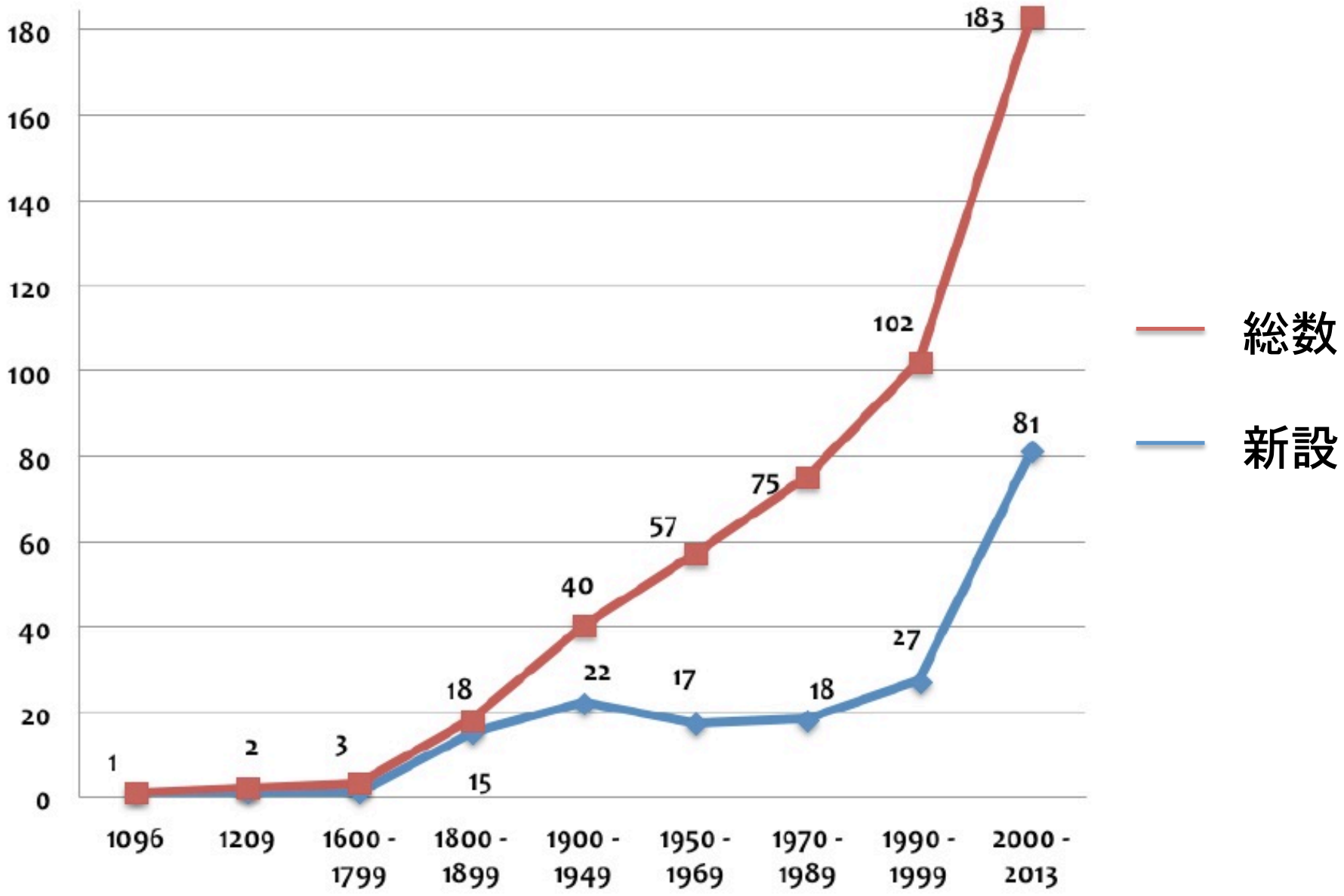
58カ国（アメリカを除く）186プログラム

（2014年現在 ボストン・カレッジ資料提供）

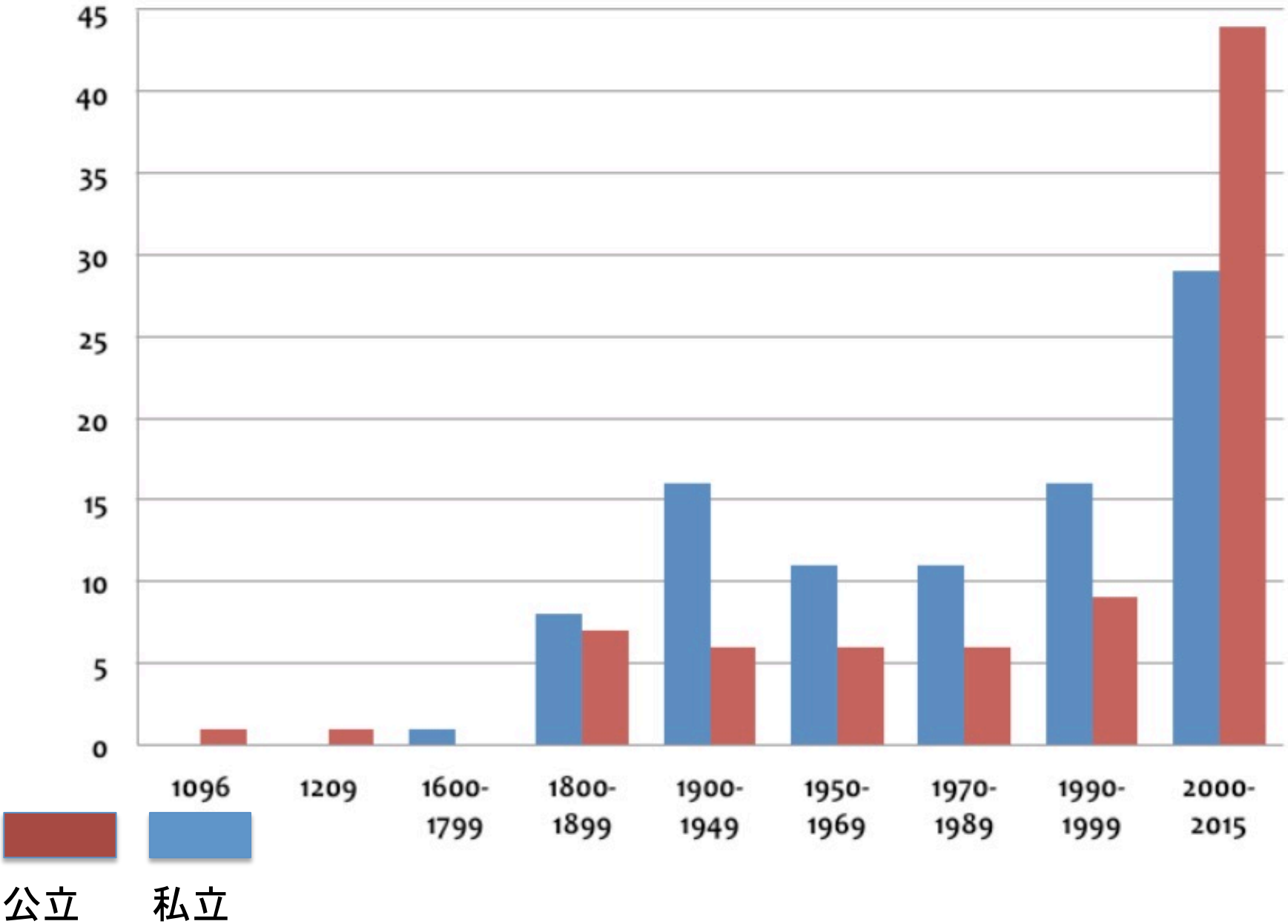
# 地域別 LASプログラム分布



# LASプログラム数の変遷



# 私立大学 公立大学


45
40
35
30
25
20
15
10
5
0
1096
1209
1600-1799
1800-1899
1900-1949
1950-1969
1970-1989
1990-1999
2000-2015
公立
私立

# リベラル・アーツ(?) ブーム

* 国際教養大学国際教養学部 2004
* 早稲田大学国際教養学部 2004
* 首都大学東京 都市教養学部 2005
* 上智大学国際教養学部 2006
* 法政大学グローバル教養学部 2008
* 山梨学院大学iCLA 2015
* 学習院大学国際社会学部 2016
* 九州大学国際教養学部(仮称) 2020
* 広島大学国際教養学部(仮称) 計画中

横浜市立大学国際総合科学部(2005)宮崎国際大学国際教養学部(2006)獨協大学国際教養学部、桃山学院大学国際教養学部(2008) 創価大学国際教養学部(2014)

# リベラルアーツ擬き

＊人文科学・社会科学主体であること
＊レジデンス型でないこと

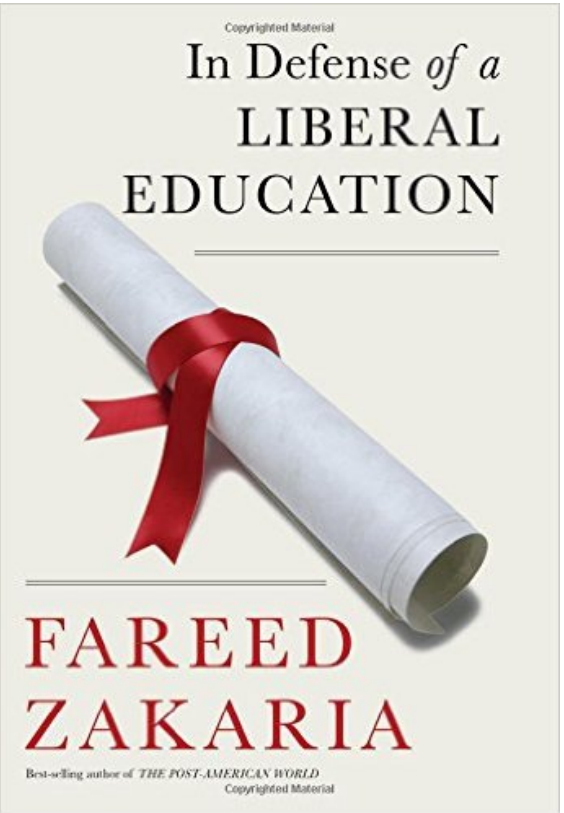
Yale-NUS シンガポール

デューク昆山大学 昆山
Kunshan University

山梨学院大学iCAL 甲府

# アメリカは

リベラル・アーツ教育
保守派: リベラル過ぎ　リベラル派:エリート的




テキサス州、フロリダ州、ノースキャロライナ州、ウィスコンシン州知事 州立大学におけるリベラル・アーツ教育への補助中止

文系専攻学生の激減

ファリード・ザカリア『リベラル教育の擁護』(2015)

# 世界と日本の高等教育改革の流れ

1990年代以降の（米国を除いた） 世界の教育改革
高等教育改革と「逆行」する日本の高等教育の
多様化

世界では
・ 高等教育の非職業教育、非実学化
・ リベラルアーツ・アンド・サイエンス化
・ 教養教育重視

多様化より均一化の傾向　　その必然性

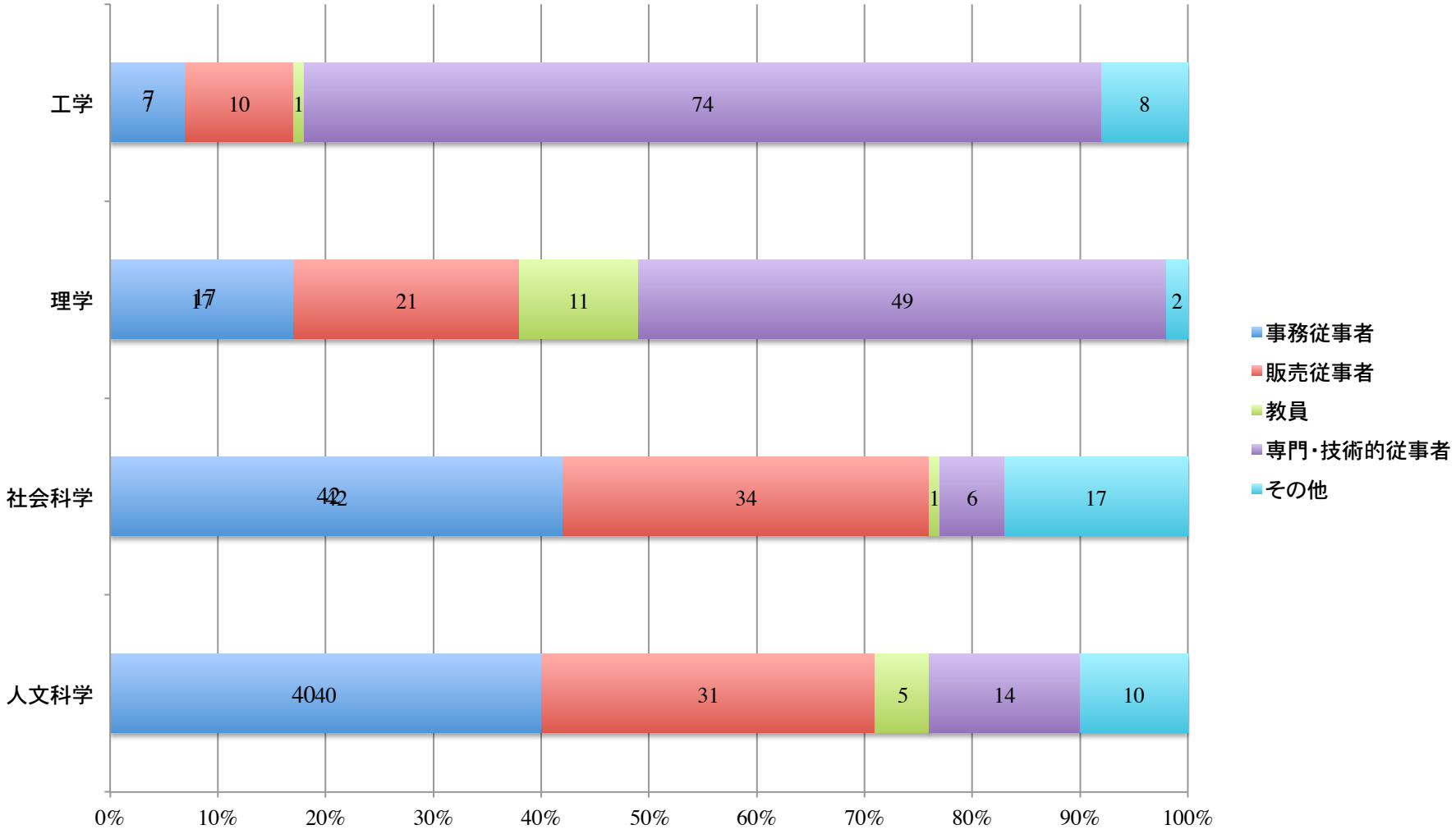
# 理由・背景①

大学における専門とキャリアとの関連はそもそも希薄であり、大卒者が大学における専攻と関わりのない職種につく傾向がますます強くなりつつある。

↓

専門教育により特定の分野の技術や技能を習得させるより、将来、「移転可能」な「汎用的」能力を育成する方が、労働市場や社会に有用

# 大学における専門と卒業後に従事する職種の連関




文部科学省『学校基本調査』2014年

## 全世界的傾向

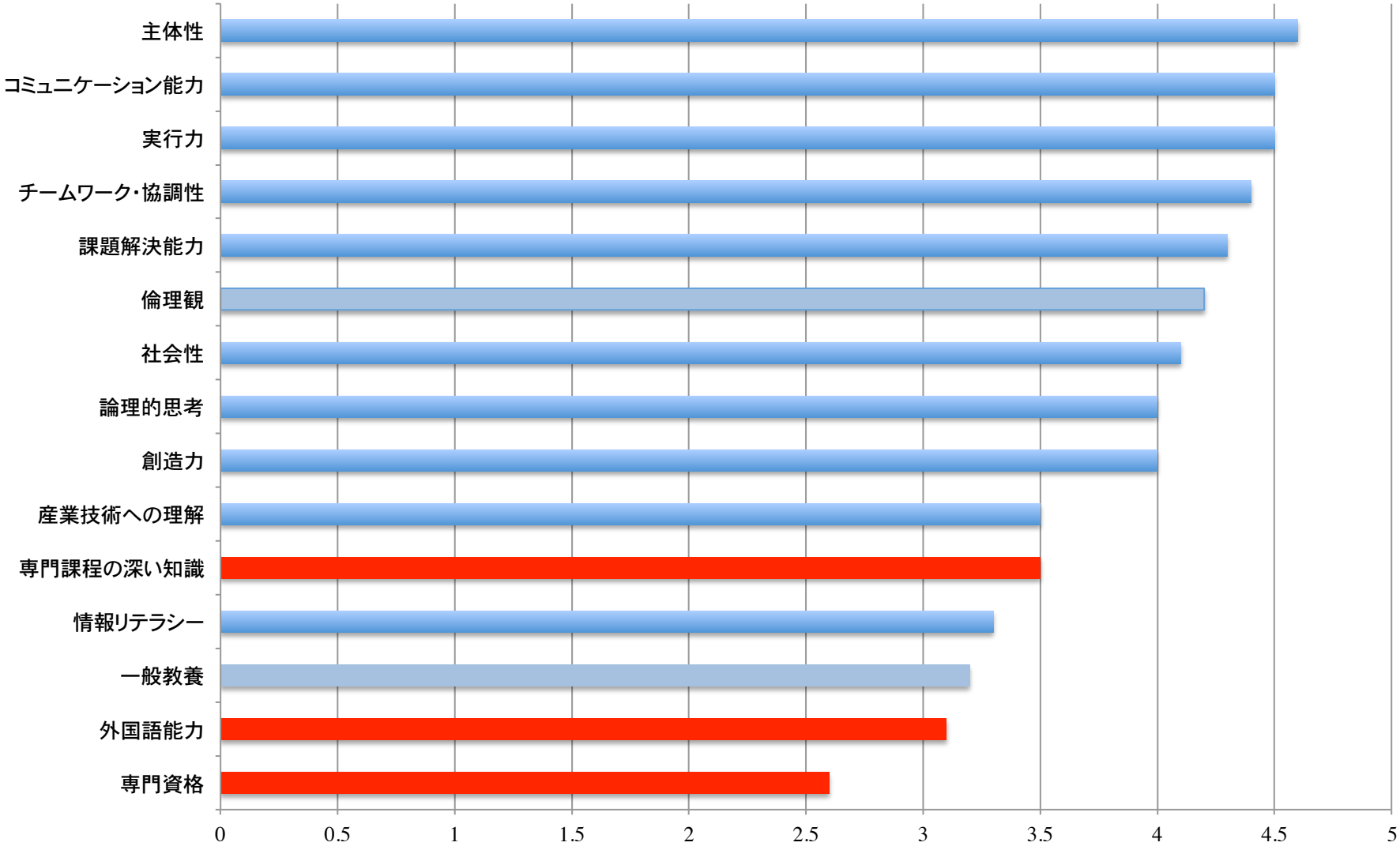
‘60% of US college graduates cannot find a full-time job in their chosen profession.’

*Forbes*, March 1, 2012

‘Only half of all UK graduates are working in a field that relates to their degree after leaving university.’

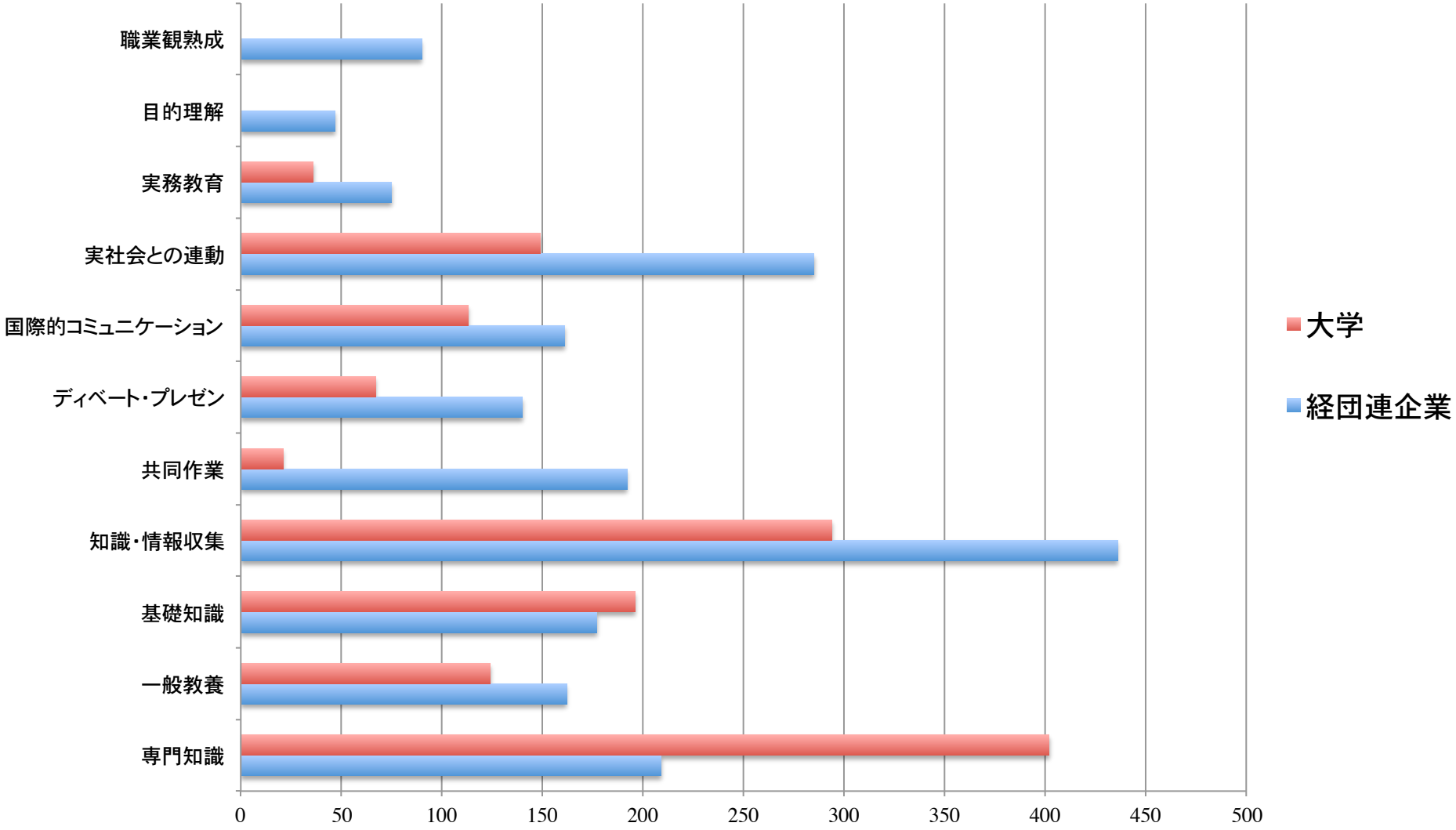
*Independent*, June 30, 2014

# 大学卒業者を採用に当たって重視する能力等



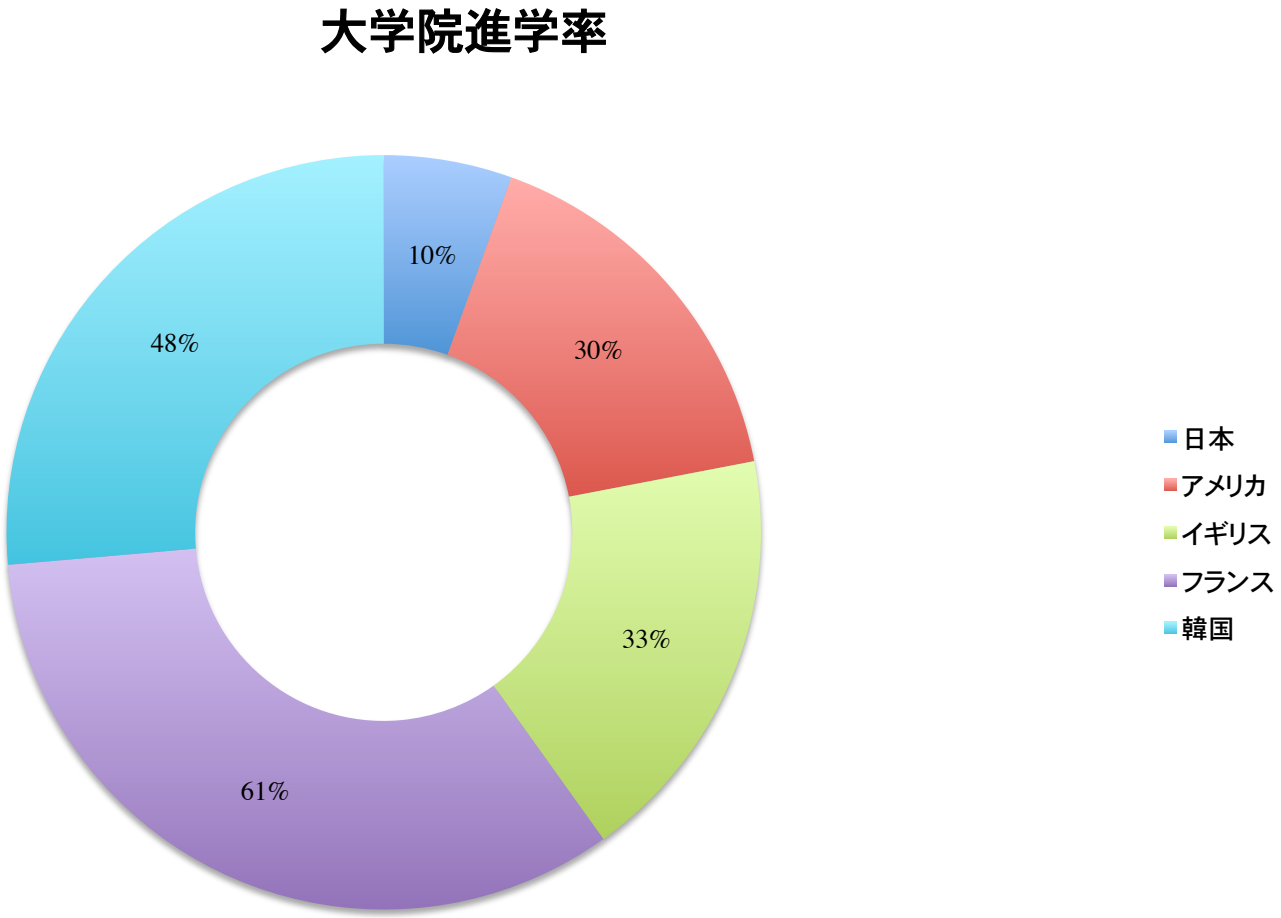

日本経済団体連合会アンケート 2011年

# 人材育成の面での大学・大学院への期待（文系）
# 人材育成面で大学・大学院が注力している点（文系）




経団連アンケート 2005年

# 低い日本の大学院進学率




学校基本調査

# 未来社会・労働形態・高等教育

- 「今年、小学校に入学する子供たちの65%は未だ生まれていない職種につくことになるだろう」キャシー・デイヴィッドソン（デューク大学）
- 主張 →「就職の段階では存在していない経済・ビジネス状況が現れても、機能できる労働者を育成できるよう教育システムは再構築されねばならない」
- 「47%の職業が十年ないし二十年のうちに機械・ロボット・コンピュータによってとってかわられるだろう」マイケル・オズボーン（オックスフォード大学）

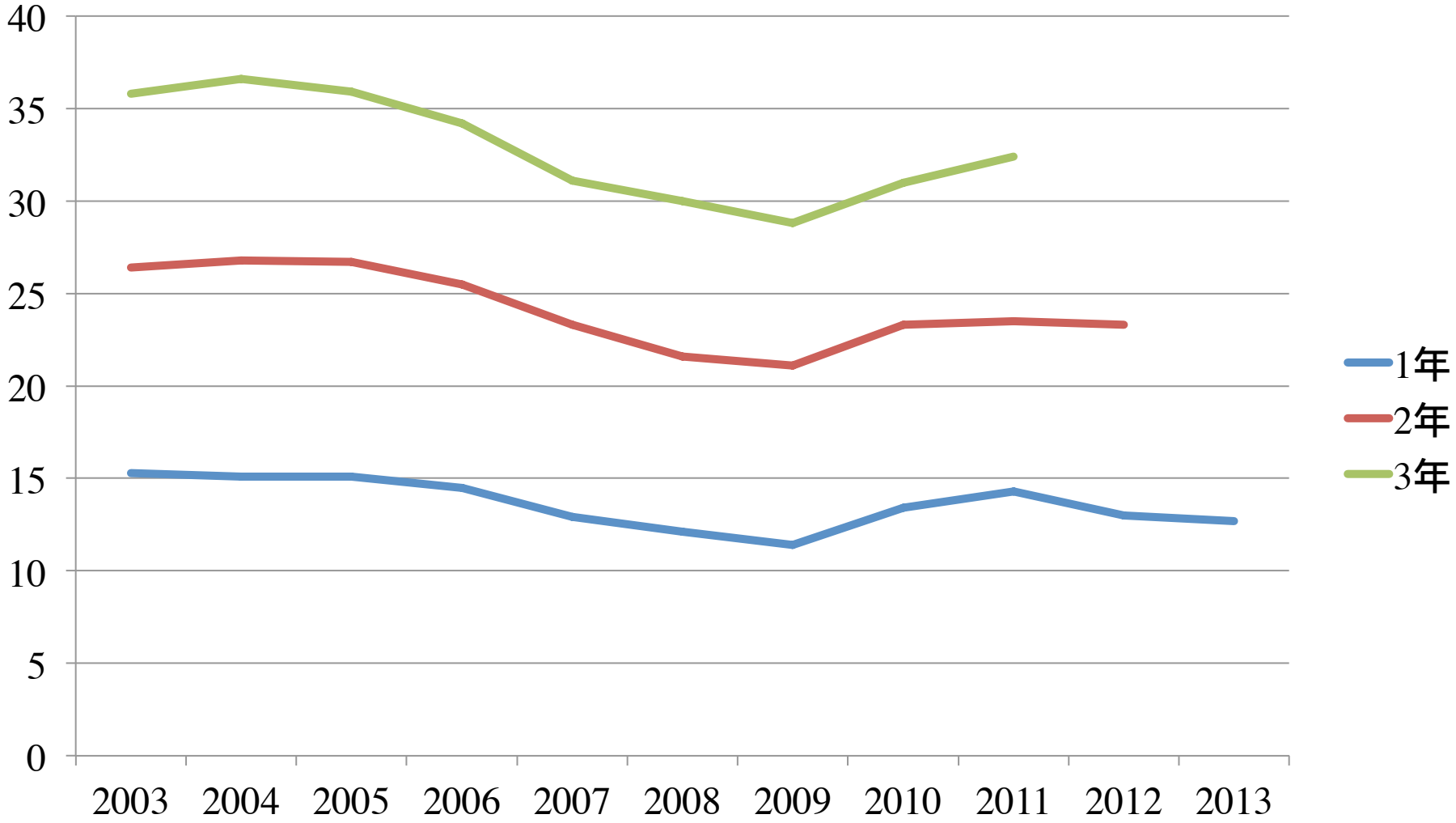
# 理由・背景②

社会、経済、業種、労働形態の変化が激しく、生涯同じ職場、会社、職種で働き続けることがありえなくなる。

↓

労働者の生涯が多様な職業・職種から構成される「ポートフォリオ社会」においては、「移転可能」で「汎用的」な能力が不可欠。

# 新規大卒就職者の在職期間別離職率の推移




学校基本調査

## Job Quitting

‘… a quarter of [US] graduates expect to quit their job within one year.’

*New York Times*, 20 August 2014

‘One in four [UK] graduates anticipates leaving their first job within 12 months of starting it … 20% of graduates take jobs they don’t want just to fill their CV … and two in three regret accepting job offers as soon as they start in the role.’

*HRZone*

アメリカ人は平均11.5回生涯に職を変える

# ポートフォリオ社会 例1男性30歳

公立高校 → 早稲田大学国際教養学部

アデレード大学交換留学ワイン学

ゼミ 映画研究 → 卒論 Hollywood Stars and Consumerism: From *Breakfast at Tiffany* to *The Devil Wears Prada*

JTB

ソムリエ
1年

オークラホテル
5年

2年

# ポートフォリオ社会例2　女性30歳

海外現地校

早稲田大学国際教養学部

ワシントン大学交換留学

ゼミ
映画研究

卒業研究：短編ドキュメンタリー映画
*Children in Poverty*

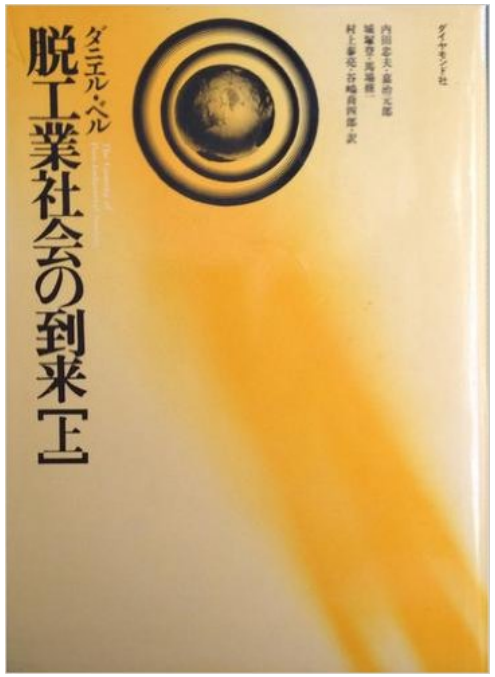
インターン
Save the Children Fund, Singapore
2年

Goldman Sachs
シンガポール3年

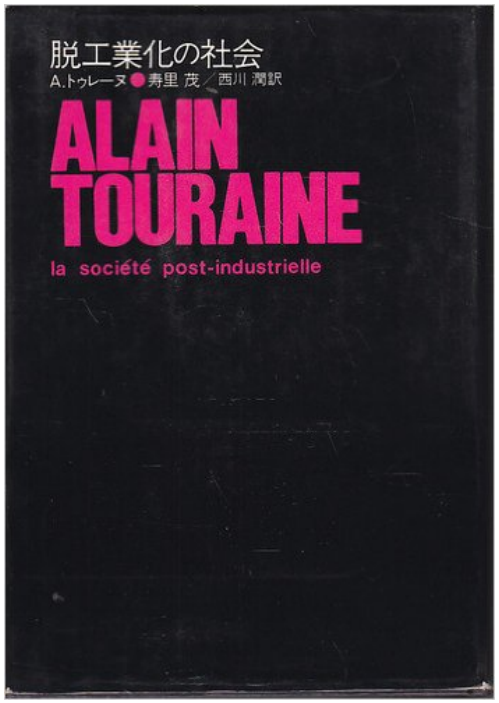
CREDIT SUISSE
シンガポール3年

# 脱工業化社会における高等教育

「脱工業化社会」(ダニエル・ベル)、ないし、「知識基盤社会」においては、専門知識や専門技術の習得にもまして重要なのは、汎用的、移転可能(transferable) なコンピテンス




ダニエル・ベル『脱工業社会の到来』(1973)




アラン・トゥレーヌ『脱工業化の社会』1970)

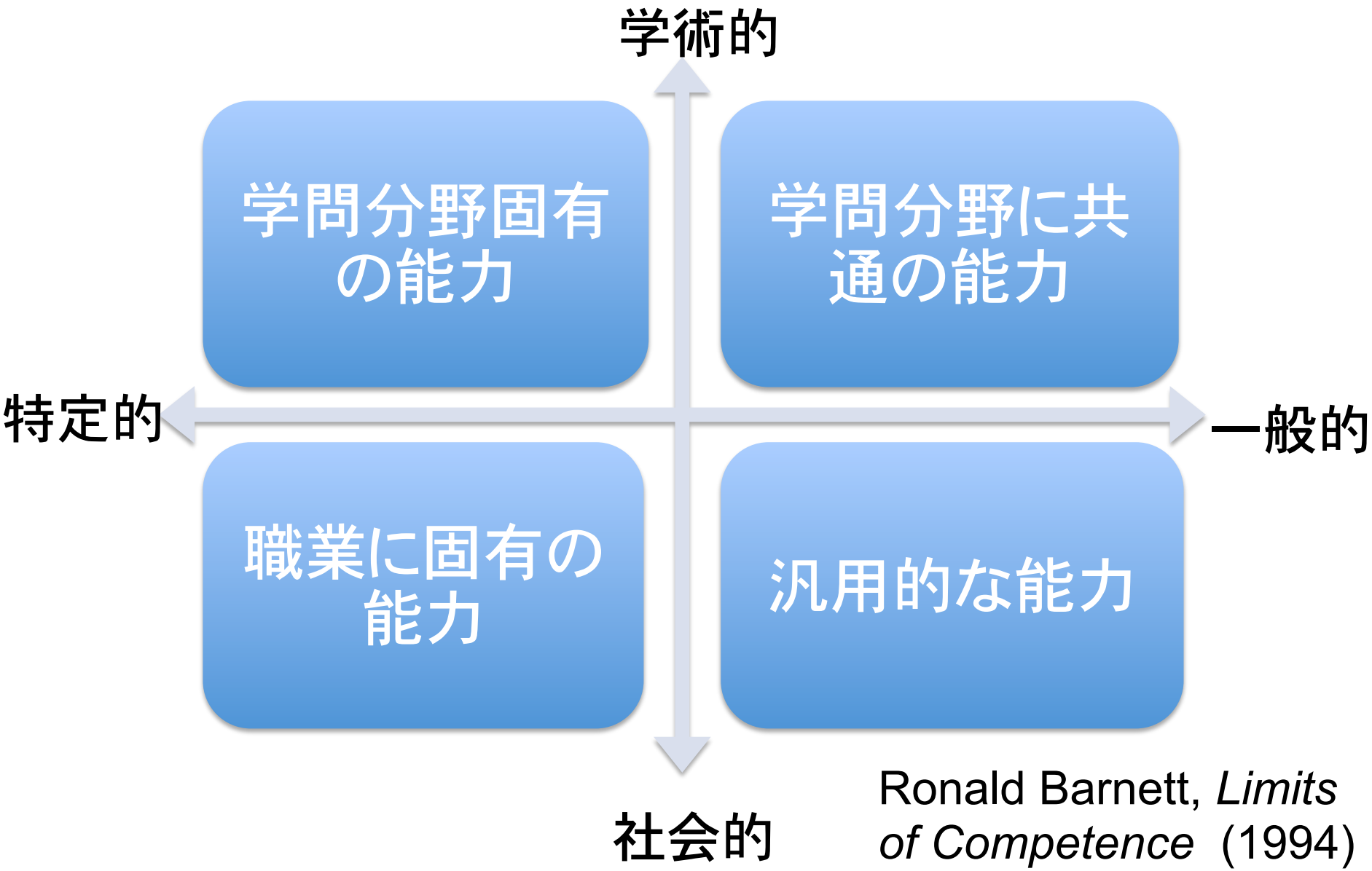
# 社会が求め大学が育てる能力

知的コンピテンス（数的スキル、情報収集・分析・整理能力、思考力、問題解決能力、生涯学習能力）

社会的コンピテンス（協働能力、責任感、倫理性）

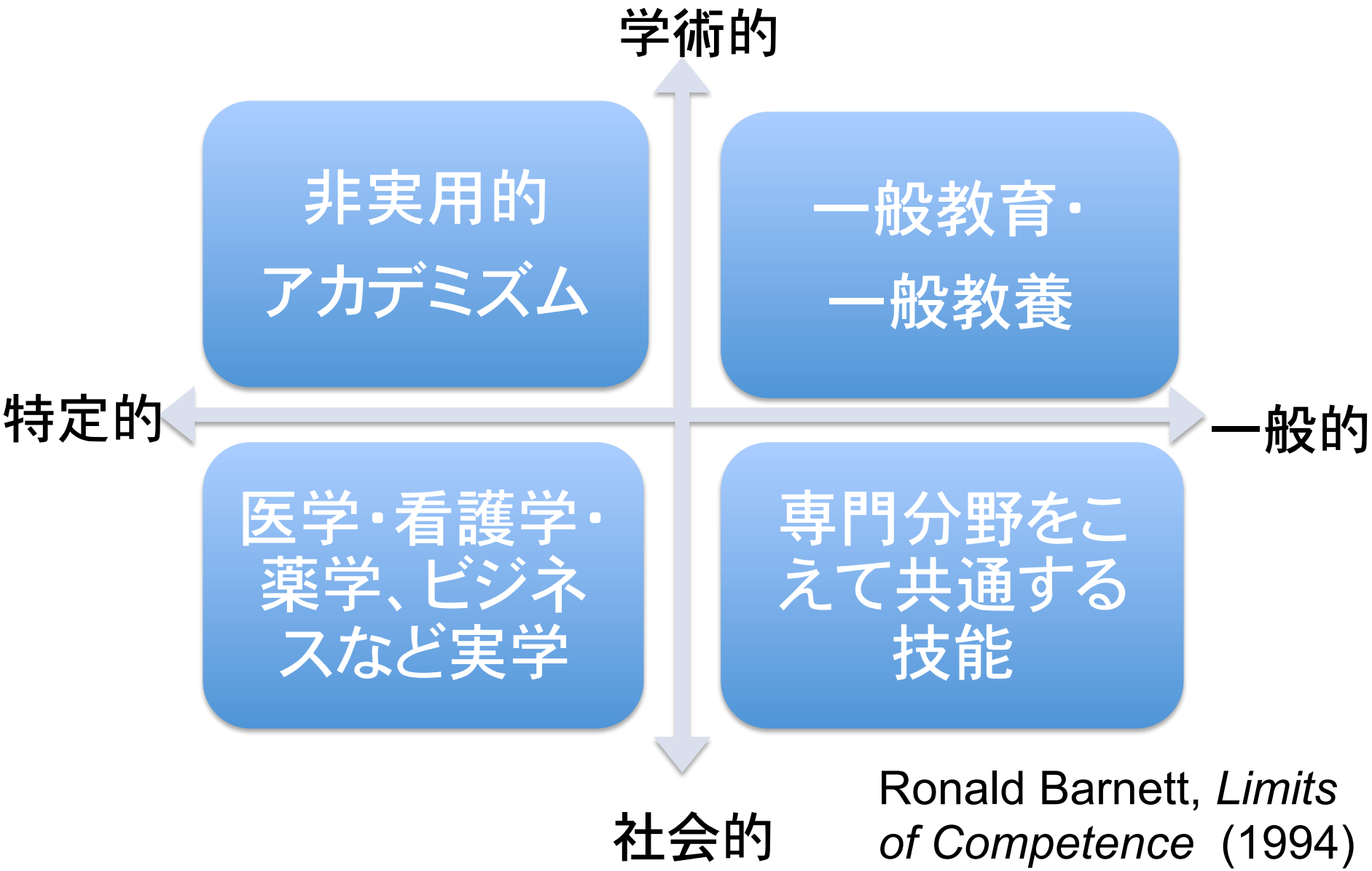
コミュニケーション的コンピテンス（言語能力、情報伝達能力、コミュニケーション・スキル）

# 社会が求め 大学が育てる能力




Ronald Barnett, *Limits of Competence* (1994)

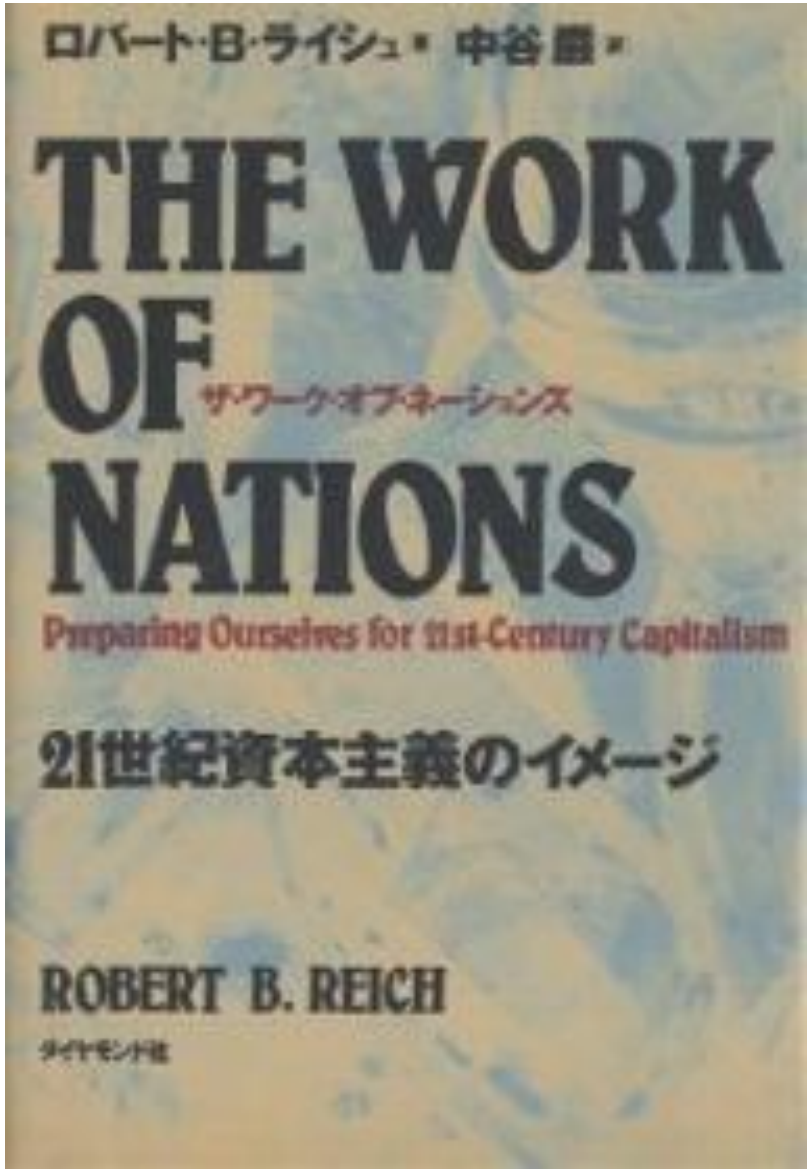
# 社会が求め 大学が育てる能力




Ronald Barnett, *Limits of Competence* (1994)

## ライト・ミックス

- 知的・社会的・コミュニケーション的コンピテンスの養成 & Right Balance / Right Mix
- 専門的教育研究、語学・一般教育を基盤とする「大学」教育においてのみ達成される
- 大学を得意分野毎に特化する:「高度研究型」「職業教育型」「実務型」「リベラルアーツ型」「グローバル型」「地域貢献型」
  Lack of Balance / Polarization
- 教育格差 -- キャリア格差 -- 賃金格差




## シンボリック・アナリスツ

未来の職業分類
① シンボル（情報）分析
②単純作業による生産業
③対人サービス供給業

ロバート・B・ライシュ『ザ・ワーク・オブ・ネーションズ』（1992）

## 「シンボリック・アナリスト」

シンボリック・アナリスト = 想像力と創造力を備えた課題発見者、課題解決者、革新者
新ホワイト・カラー: 大学出身の エンジニア、法律家、教授、管理職、ジャーナリスト、コンサルタントなど　人口の20%

格差解消: シンボリック・アナリストになるための教育機会の平等の保障
逆に言えば、大学を縮小し、技術専門学校、実学教育機関を増やすことは、格差の固定につながる。

The Work of Nations ＝ 国家の仕事

## 北海道・東北

### 文系

| 順位 | 大学名 | 学部名 | 就職率(%) |
|---|---|---|---|
| 1 | 公 岩手県立大学 | 社会福祉 | 96.7 |
| 2 | 公 宮城大学 | 食産業 | 96.6 |
| 3 | 私 青森中央学院大学 | 経営法 | 95.9 |
| 4 | 私 東北福祉大学 | 子ども科 | 94.6 |
| 5 | 私 北海道文教大学 | 人間科 | 93.8 |
| 6 | 公 宮城大学 | 事業構想 | 92.8 |
| 7 | 国 東北大学 | 経済 | 90.8 |
| 8 | 国 宮城教育大学 | 教育 | 90.1 |
| 9 | 私 東北福祉大学 | 健康科 | 89.8 |
| 10 | 国 秋田大学 | 教育文化 | 89.4 |
| 11 | 公 岩手県立大学 | 総合政策 | 89.3 |
| 12 | 公 国際教養大学 | 国際教養 | 88.0 |
| 13 | 私 北海道情報大学 | 通信教育部 経営情報B | 87.7 |
| 〃 | 私 東北福祉大学 | 総合マネジメント | 87.7 |
| 15 | 私 東北福祉大学 | 総合福祉 | 87.5 |
| 16 | 国 北海道大学 | 経済 | 86.9 |
| 〃 | 国 小樽商科大学 | 商 | 86.9 |
| 〃 | 私 北海商科大学 | 商 | 86.9 |
| 19 | 私 東北公益文科大学 | 公益 | 86.2 |
| 20 | 私 仙台白百合女子大学 | 人間 | 85.7 |
| 21 | 国 山形大学 | 地域教育文化 | 85.3 |
| 22 | 国 弘前大学 | 人文 | 85.2 |
| 23 | 私 東北工業大学 | ライフデザイン | 84.3 |
| 24 | 国 北海道教育大学 | 教育 | 84.2 |
| 〃 | 私 藤女子大学 | 人間生活 | 84.2 |

### 理系

| 順位 | 大学名 | 学部名 | 就職率(%) |
|---|---|---|---|
| 1 | 私 東北薬科大学 | 薬 | 98.6 |
| 2 | 私 北海道工業大学 | 空間創造 | 96.6 |
| 3 | 公 秋田県立大学 | システム科学技術 | 94.8 |
| 4 | 公 公立はこだて未来大学 | システム情報科 | 93.6 |
| 5 | 私 東北工業大学 | 工 | 92.8 |
| 6 | 公 秋田県立大学 | 生物資源科 | 91.3 |
| 〃 | 私 八戸工業大学 | 工 | 91.3 |
| 8 | 公 名寄市立大学 | 保健福祉 | 89.5 |
| 9 | 公 岩手県立大学 | ソフトウェア情報 | 89.1 |
| 10 | 私 東北学院大学 | 工 | 89.0 |
| 11 | 公 会津大学 | コンピュータ理工 | 88.9 |
| 12 | 国 山形大学 | 工 | 88.2 |
| 13 | 国 帯広畜産大学 | 畜産 | 87.6 |
| 14 | 国 弘前大学 | 農学生命科 | 86.7 |
| 15 | 国 室蘭工業大学 | 工 | 86.5 |
| 16 | 国 東北大学 | 農 | 86.4 |
| 17 | 私 北海道工業大学 | 創生工 | 85.4 |
| 18 | 私 北海道医療大学 | 薬 | 85.1 |
| 19 | 国 岩手大学 | 農 | 84.1 |
| 20 | 国 岩手大学 | 工 | 83.9 |
| 21 | 国 山形大学 | 理 | 83.7 |
| 22 | 国 秋田大学 | 工学資源 | 82.8 |
| 23 | 国 北見工業大学 | 工 | 82.2 |
| 24 | 国 北海道大学 | 工 | 80.6 |
| 〃 | 国 山形大学 | 農 | 80.6 |

格差の固定は始まっている

就職率96.7でも喜べない理由

出典 東洋経済